

# がんばる農家プラン

～エイトの農業で地域と人材育成を、  
目標となる経営体を目指して～

作成年度 平成29年4月  
作成者 株式会社エイト  
代表取締役 岩田 正

# ~エイトの農業で地域と人材育成を、 目標となる経営体を目指して~

作成者及び事業主体

株式会社エイト

代表取締役 岩田 正

## 1. はじめに（プラン作成に至った経緯）

- ・ 歳（平成29年2月現在）
- ・ 昭和59年に脱サラをして、先代から引き継いだ水稲と新たに始めたトマトの経営を開始。当初は経営規模も小さく、米価も下落が始まり経営に苦労した。なかなかトマトの反収もあがらなかった。
- ・ 平成16、17年に個人でチャレンジプラン事業に取り組み、作業性能の高い機械（トラクター）を導入したお陰で、集落内の連反した農地を集積することができ、経営が軌道に乗り出した。これまでにコンバイン、乾燥機、糞摺機を自己資金で導入することができた。
- ・ 平成21年に息子が脱サラをして経営を継ぐ意思表示をしたが、一度外で農業を経験すべきと助言し、町内の法人に就業して水稲+トマトの栽培を行い、今では親子でライバル関係になるほど技術と経営感覚が身についている。
- ・ 水稲面積も徐々に拡大し、広域で作業するようになると、狭い農地を機械が自走することで危険も増えてきたため、平成24、25年に個人でがんばる農家プラン事業に取り組み、セーフティローダを導入して安全に安心して農業に取り組めるようになった。
- ・ 今後の更なる経営発展を見込み、平成26年に法人化を行った（事業は農業+除雪）。家族経営からの脱却、休日を設けるなど就業体制を整備することを目標とした。
- ・ 平成27、28年に町のがんばる地域プランを活用してトマトを増反し、雇用も始めた。
- ・ 近年は、近場の個人農家と連携して、水稲播種の共同作業や資材の一括購入を行っている。
- ・ 新規就農者の受入れも行い、町内の担い手育成にも力を入れている。



写真) 山伏水路が多く、維持管理も大変



写真) 法人化を専門化に相談（H26年6月）

## 2. 経営者の実績

- (1) 認定農業者 平成 26 年 11 月認定
- (2) 日南町人・農地プランに位置づけられる中心となる経営体
- (3) 日南町農業委員
- (4) 指導農業者
- (5) 鳥取県優秀経営農林水産業者表彰
- (6) 過去の補助事業の活用
  - H17～18 チャレンジプラン事業  
トラクター33ps 導入
  - H24～25 がんばる農家プラン事業  
トラクター、セルフレーター導入
  - H27～28 がんばる地域プラン事業  
トマトハウス 22a 導入  
(H27: 増反9a、建替11a、  
H28: 増反2a→H29から作付)

## 3. 生産経営の現状・課題

- (1) 生産経営の現状 (平成28年度)

### 《経営規模》

| 自作地     | 借入地     | 合計      |
|---------|---------|---------|
| 308.9 a | 612.3 a | 921.2 a |

### 《作目》

| 水稲    | トマト<br>(雨除け大玉) | 他野菜(そば) |
|-------|----------------|---------|
| 810 a | 32.0 a         | 18.6 a  |

### 《作業受託》

| 耕耘・代掻き・田植え | 稲刈り   | 乾燥調整   |
|------------|-------|--------|
| 100 a      | 300 a | 300 a分 |

《所有機械・施設》 H29.1月現在

※参考：岩田正所有機械（弊社が借りている機械）

別紙 岩田 正の減価償却の台帳

(2) 経営に係る強み・弱み分析

|   |   |
|---|---|
| <p>《強み》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・水稲とトマトの複合経営で価格下落等におけるリスク分散</li><li>・水稲、トマトともに反収が高位平準化している（いずれも町内トップクラス、日南町有機まんまん大会表彰：もち米6回、トマト反収部門3回、同販売額部門8回）</li><li>・技術を持った後継者がいる</li></ul> | <p>《弱み》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・販売力がない（農産物は全てJA出荷）</li><li>・冬仕事がなく通年雇用ができない（事業主は除雪を行っている）</li><li>・湿田が多く作業性があがらない。</li></ul> |
|---|---|

(3) 経営課題

① 農業機械等の格納

弊社の経営規模では農業機械が多く、規模拡大に伴い機械の数や大きさがアップするほど格納に問題を生じます。現在でも機械の格納は4箇所になり、距離にして1km離れているため不便を感じています。鍵も簡易なものであるため、家から離れた格納庫で万が一盗難があった場合には大きな痛手となります。



また、弊社は近年取り組みを始めた“資材の共同購入”の一時置き場となっているため、現状のスペースでは不足し雨に濡れてしまいます。

これらのことから、格納庫においては集約とスペースの確保、及び作業効率と安全性の向上が必要と感じています。

※格納庫配置図

※一括購入資材の状況

② コンバインによる刈り取り作業

阿毘緑地区は昭和の終わり頃にはほ場整備を行いましたが、30年近く経った今、湿田が多く生産者を苦しめています。排水性の悪さや山からの湧水など、特に秋作業が計画どおり作業できない年が多くあります。中干しを強めにしたり、溝切機を導入するなど最大限の努力をしていますが、ほ場の下から水が湧くと手当のしようがありません。平成28年は秋の天候不順で特にほ場状態が悪かったため、現有の機械でははまってしまうため大型機械を持つ法人に委託をして一部のほ場を刈り取ってもらいました。コンバインのクローラー幅を大きくし、馬力を上げることでほ場状態が悪くても刈り取り作業を行えることが分かりました。



ちなみに平成25年に春作業（耕耘）が行いやすくなるようにトラクターをセミクローラーのものに変えて効果がありました。

※現有機械 クボタER328（3条刈38馬力 クローラー幅360～400mm）

※委託作業機械 クボタWR448（4条刈60馬力 クローラー幅450mm）

### ③ トマトほ場の排水性の悪さ

トマトの規模拡大を行う際に、水田にハウスを建てたため、排水が悪い箇所がいくつかありました。平成28年の栽培1年目では畝立てをしているにも関わらず排水不良によりほ場に水が溜まり、トマトが湿害を受けました。土壌を掘ってみたところ固い耕盤があり、水が抜けなことが分かりました。



### ④ 労働力の安定確保と人材育成

日南町は豪雪地帯であるため、冬期に栽培できる作物がないため、農業で年間雇用をすることができません。除雪作業等の農外作業もありますが、枠があるため年間雇用は難しいと感じています。

そのため早急に人材育成に取りかかりたいのですが、経営面から躊躇する面があります。将来後継者の右腕になるような若い人材を雇用し、育成したいと考えています。

※現在の労働者状況 写真



### ⑤ 農産物・資材等の運搬

フォークリフト（1.5t）を1台所有しており、出荷する米袋やトマト、資材（土、肥料など）、トマトタンク（1000L）などを運んでいます。現有機械は古いタイプでフォークシフト機能がついておらず、狭い作業スペースでは建物にリフトがぶつかることがあります危険です。

※現有タイプ 仕様（フォークシフト機能の説明）

ガソリン型、定格荷重1.5t、フォークシフト機能なし



### ⑥ 堆肥の切替え、土作り

トマト栽培では堆肥を施用するため、町営堆肥センターから堆肥を購入します。近年は畜産農家も減り、堆肥が増えない中、水稻農家等から需要が増えてきました。弊社では必要量が確保出来たら早めに運んでもらうよう依頼をしていますが、発注が早いと堆肥は未熟な状態です。町の堆肥を利用することは補助支援が受けれること、一定の品質を確保していることから利用を継続します。そこで複数年分を運んでもらい、自宅で満足のいくように完熟させて施用したいと考えています。切り返すためのフロントローダーがありません。



#### (4) 改善内容と目標値

##### ①農業機械等の格納庫の集約、スペース確保

分散している格納庫を集約するために、自宅前に格納庫を新設します。

併せて、共同購入資材の一時置き場となるスペースを確保します。

※設計図 15m×7m



##### ②コンバインの能力アップ

現在使用している3条刈コンバインから4条刈コンバインへ能力アップします。クローラー幅が広くなり、馬力もあがるため、耕作している湿田ほ場でも計画的に作業をすることができます。

※現有と新規の能力比較

##### ③サブソイラによる排水性確保

トマトで湿害を受けたほ場にサブソイラをかけることで耕盤を破碎し、排水性を確保したいと思います。サブソイラは持っていませんが、購入すると過剰投資になるため大規模農家に作業委託するなどしてほ場環境の改善に努めます。



##### ④雇用事業等を活用した労働力確保

年間雇用の難しさは変わりませんが、ハローワークや農業大学校等で人材を確保して雇用事業等を活用しながら年間雇用に踏み切ります。冬場は農外の作業を見つけて通年で働いてもらえる環境を作り、人材を育成します。

##### ⑤フォークリフトの能力アップ

フォークリフトを1.5tから2.0tへ向上させ、荷物運搬時の安定性を増します。フォークシフト機能をつけることで狭い場所でもスムーズに作業ができるようにします。



##### ⑥堆肥の切替え、土

複数年分の堆肥を自社で切り返すためのフロントローダーを導入します。切り返し以外にもほ場までの運搬も行います。

《目標値》

|         | 現状<br>平成28年 | 1年目<br>平成29年 | 2年目<br>平成30年 | 3年目<br>平成31年 | 目標年<br>平成32年 |
|---------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 水稻作付面積  | 810 a       | 810 a        | 860 a        | 990 a        | 990 a        |
| トマト作付面積 | 32 a        | 34 a         | 35 a         | 35 a         | 35 a         |
| 正規雇用    |             |              |              | 1人雇用         |              |

4. 事業効果

- ・格納場所を改善することで、動線がシンプルになり仕事の効率が向上します。
- ・計画どおりに作業ができるようになれば、更なる規模拡大も見込めます。
- ・効率向上、規模拡大により利益を増やし、雇用に繋げることができます。
- ・過疎が進む当地域から荒廃農地を出すことなく、農地を守ることができます。
- ・弊社が農業で儲けることで、これから就農する若者の受け皿となり、担い手を育成することができます。弊社が地域のモデルとなり、弊社を目標とする担い手が現れ、地域が益々発展することが期待できます。

5. 目標達成に向けた取り組み（年次別の行動計画）

| 項目           | 内容             | H29 | H30 | H31 |
|--------------|----------------|-----|-----|-----|
| 規模拡大         | 作付け及び受託面積の増    | ○   | ○   | ○   |
| 格納庫の新設       | がんばる農家プラン事業で導入 | ◎   |     |     |
| コンバイン（4条）の導入 | がんばる農家プラン事業で導入 | ◎   |     |     |
| トマト排水性確保     | 作業委託によるサブソイラ施工 | ○   | ○   | ○   |
| フォークリフト導入    | がんばる農家プラン事業で導入 | ◎   |     |     |
| フロントローダーの導入  | がんばる農家プラン事業で導入 | ◎   |     |     |
| 雇用の確保        | 正規雇用1名         |     |     | ○   |

※ ◎は県、町の支援が必要なもの（がんばる農家プラン事業）、○は自社対応。

6. 機械・作物の年次別計画

| 年度            | H29年度<br>(計画)   | H30年度<br>(計画)  | H31年度<br>(計画)  | H32年度<br>(目標)  |
|---------------|---|--|--|--|
| 機械・施設<br>導入計画 | 格納庫 [8月]<br>コンバイン [8月]<br>フォークリフト [6月]<br>フロントローダ [6月]                        | -  | -  | -  |
| 対象作物の<br>生産計画 | 水稲 8.1 ha<br>トマト 34a<br>(作業受託)<br>耕耘 20 a<br>代掻き 20 a<br>田植え 20 a<br>刈取 300 a | 水稲 8.6 ha<br>トマト 35 a<br>(作業受託)<br>耕耘 20 a<br>代掻き 20 a<br>田植え 20 a<br>刈取 300 a | 水稲 9.9 ha<br>トマト 35 a<br>(作業受託)<br>耕耘 20 a<br>代掻き 20 a<br>田植え 20 a<br>刈取 300 a | 水稲 9.9 ha<br>トマト 35 a<br>(作業受託)<br>耕耘 20 a<br>代掻き 20 a<br>田植え 20 a<br>刈取 300 a |

※表中 [ ] は導入希望時期

7. 支援事業の内容

(単位：円)

| 内 容      | 事業費 (税抜き)  |          |          | 負担区分                     |
|----------|------------|----------|----------|--------------------------|
|          | H28 (計画)   | H29 (計画) | H30 (計画) |                          |
| 格納庫      | 5,806,150  |          |          | 県 1/3<br>町 1/6<br>本人 1/2 |
| コンバイン    | 7,000,000  |          |          |                          |
| フォークリフト  | 2,500,000  |          |          |                          |
| フロントローダー | 1,100,000  |          |          |                          |
| 合計       | 17,254,150 |          |          |                          |

※補助残は全て自己資金が基本であるが、一部資金借入を予定している。

8. 添付資料

- ①ほ場図
- ②導入機械カタログ、見積書
- ③経営試算
- ④規模決定根拠